

<p>溶融スラグ作成条件が スラグからの鉛の溶出に与える影響</p>	
<p>Effect of melting furnace condition on lead leaching from melting slag</p>	
<p>廃棄物の減容化と無害化、リサイクルなどの観点から溶融処理に注目が集まっている。Pbは他の重金属と比べて土壌環境基準を超えやすく、問題となっている。しかし、スラグ中からのPbの溶出に関して決定的な原因はわかっていない。本研究では模擬灰組成を一定として、溶融保持時間、冷却速度を変化させて実験を行い、その影響を考察した。46号試験の結果、Pbの溶出濃度の高いサンプルがみられたが、pH10固定式溶出量試験より、pHの上昇が一因であると考えられた。XRDによるスラグ内結晶構造解析では溶出濃度が高いサンプルにおいてCaOのピークが確認された。これは粒径の大きいCaOが溶融せず、そのままの状態ですラグ中に含有されたためCaの溶出濃度が上昇し、pHが大きくアルカリ側に傾いた結果、Pbの溶出濃度が高くなったと考えられた。</p>	
<p>滝本陽一</p>	<p>Youichi Takimoto</p>
<p>スラグ、鉛、カルシウム、XANES、EXAFS、EXEFS</p>	
<p>Slag, Lead, Calcium, XANES, EXAFS, EXEFS</p>	